

二月十一日

今日はどうかやら休日らしいが何の休日であるかは知らぬ。十時五十二分のあさま五一三号で軽井沢へ。幸脇さんの土地を見るため。昨夜の上海の登さんと若松社長との会食は面白かった。若松さんは今、ロシアに気持ちに向いていて、そう言えば今日はモスクワに発つと言ってた。登さんは上海の二〇二〇年にフォーカスを絞っている。登さんは今日は台北だ。二人共、実感をベースにしたインスピレーションで動いている人だが、フワフワと現実から浮いて見えるところが面白く、まさに現代的な人間像を体現している。ライフ・スタイルがリアルであればある程、マナーの世界に入り込めば入り込む程、その現実がミラージュの如くに眼に写るのだ。アツという間にもうすぐ軽井沢だ。伊豆への踊り子の時間と、新幹線の時間はやはり違う。移動の速度が異なる時間を生み出している。異なる時間は異なる思考を生み出す可能性がある。人間は永遠に光より速く動けないらしいがそんな速度の中で考えてる事は違う世界なのだろう。昼前軽井沢着。追分鉄道に乗り換えて信濃追分へ。車で幸脇さんの土地のクラブハウスへ。チエックイン。昼食後、土地見学。考えていた建築の軸を九〇度回転させなければならぬ。眺望の素晴らしい土地だ。周辺の山荘を車で見て廻り十五時半クラブハウスのレストランに戻る。温泉に入り、グツグツ休む。十九時半クラブハウスのレストランで夕食。二十二時半就寝。海日汗の博士論文持ってきたが読めず。明日に持ち越す。

二月十二日

七時温泉につかる、濃霧で何も見えぬ。昨日この天気であれば土地の印象は違うものになっていただろう。幸脇夫妻は所用で早朝東京へ戻った。本当にかえって良い休みを与えていただいて恐縮してしまう。八時過霧がスーッと引いて浅間山が姿を現わした。マチャプチャレを眺めて忘然としていたのを思いだす。浅間山も火山なりにマア良くやっているヨ。デカさが違うけれど。八時半一人で朝食。十時過、もう一度午前中の光で土地を見て信濃追分へ。十一時過軽井沢、新幹線で東京へ。車中、海日汗の博士論文読み赤を入れる。モンゴルのゲルの方位に関する論文で仲々面白い。十三時大学、教室会議。論文審査会。十六時梅沢さん来室、何物件かの構造打ち合わせ。台湾の蘇睿弼さんインタビュー。二〇時過世田谷村。セルフビルド原稿。GA原稿書く。